



## おりょうりとうさん

さとうわきこ 作・絵 フレーベル館

カレーライスを作ることにしたお父さん。「お父さんじやいやだ」と逃げる野菜をとあみでバッ！「ますそう」と逃げる家族も、とあみでバッ！ところが食べてみると、おいしいのでびっくり。今度は野菜が言いました。「お父さんじやなきやいやだ！」

## かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック さく じんぐうてるお やく 富山房

いたずらの罰に、夕飯ぬきで寝室に放りこまれたマックス。夢か現か、部屋に現れた海にのりだしたマックスは、かいじゅうたちの島に流れ着き、その島の王様になります。けれどもマックスは急に寂しくなって……。



## かさ

田代大八 作・絵 文研出版

雨の降る中、お父さんの傘を持って、女の子が駅へお父さんをお迎えに行きます。お友だちとすれ違い、ケーキ屋や人形屋をひやかして、女の子は駅へ向かいます。モノクロの雨の町を通り抜けていく、女の子の赤い傘が印象的です。

## がたごとかたごと

内田麟太郎 文 西村繁男 絵 童心社

野をこえ山こえ列車が行きます。がたごとかたごと。駅で降りるお客様は……あれれ？乗ったときと様子が違うようです。野をこえ山こえ、がたごとかたごと。次に降りてくるのはどんなお客様でしょうか。



## がたたんたん

やすいすえこ 作 福田岩緒 絵  
ひさかたチャイルド

電車に乗りあわせただけの知らない人どうしが、ふとしたきっかけで心をふれあわせる様子を、モノトーンからカラーに変わる絵で表現しています。きっかけさえあれば、心を通わせるのって簡単なんですね。

## ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニングム 作  
みつよしなつや 訳 ほるぶ出版

ガンピーさんが船に乗ろうとすると、動物たちも次から次へとやってきて、一緒に乗り込んでしまいました。ガンピーさんの「いいとも。とんだりはねたりしなけりやね」という口調で、リズムよくお話を進んでいきます。



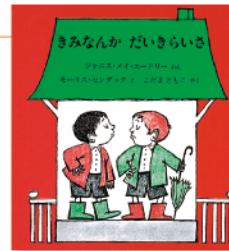
ハニン



サトウ



オオタ



## きみなんかだいきらいさ

ジャニス・メイ・ユードリー 文 モーリス・センダック 絵  
こだまともこ 訳 富山房

ジェームスとぼくは大の仲良し。でも今日は違う。ジェームスなんて大嫌いさ！もうぜったい友だちになってやらないから！「きらいだ」と言いながら、ジェームスを気にするぼくの気持ちが伝わってくる絵本です。



センタ

## キャベツくん

長新太 文・絵 文研出版

キャベツくんが歩いていると、ブタヤマさんに会いました。ブタヤマさんがキャベツくんを食べると……、ヘビがキャベツくんを食べると……、タヌキがキャベツくんを食べると……。ブタヤマさんとキャベツくんの珍妙なやりとりが続きます。



チヨウ

## きょうはみんなでクマがりだ

マイケル・ローゼン 再話 ヘレン・オクセンパリー 絵  
山口文生 訳 評論社

ある晴れた朝、5人の狩人が、クマがりに出かけます。みんなで、ちっともわくないと言しながら、草原をぬけ、川を渡って、ぬかるみを越えると……さて、クマがりは成功するのでしょうか。リズムよく、歌のようにおはなしが進みます。



オクセ

## きよだいなきよだいな

長谷川摂子 作 降矢なな 絵 福音館書店

広い野原に次々と巨大なものが現れます。子どもたちは、それで思い切り遊びます。「あたたとさ、あたたとさ」と繰り返されるリズミカルな言葉と元気な絵が、読み手の気持ちをわくわくさせる楽しい絵本です。



フリヤ

## くいしんぼうのはなこさん

いしいももこ 文 なかたにちよこ 絵 福音館書店

わがままな牛ののはなこは、体もりっぱ。チャンバラに勝ち、牧場の女王になりました。いばってばかりのはなこは、ある日、食べ物を独り占めしたので、一晩でおながが大きなアドバルーンのようになってしまいました。さあ、大変！



ナカタ

## くまのコールテンくん

ドン・フリーマン 作 まつおかきょうこ 訳 健成社

デパートのおもちゃ売場のくまのコールテンくんは、誰かが買ってくれる日を待っています。ある日、女の子がコールテンくんを気に入りますが、つりひものボタンがないので買ってもらえない。コールテンくんは、夜のデパートへボタンを探しに出かけました。



フリマ